

2019年度 事業報告

1、 入館者総数および入館料収入

入場者総数 104,258人（前年比75%）
入場料収入 38,434,953円（前年比92.4%）

① 有料入場者数 75,511人（前年比89.4%）

- ・孔子生誕祭→ 586人（前年比353%）*前年は台風接近のため中止
- ・ランタンフェスティバル≪有料入館者数≫ 12,559人（前年比70.3%）
 - ランタン貸切り→阪急交通社3日間で734人
 - クラブツーリズム2日間で486人
 - 近畿日本ツーリスト 75人
 - JR九州 88人
- ・赤ちゃんハイハイレース（赤ちゃんエントリー数）57組→昨年度は台風のため中止
- ・中国変面ショー付き団体 410人（昨年度624人）
- ・コスプレ関連 18組 コスプレ39人 カメラマン23人→合計62人（昨年度75人）
- ・変面の日（一日2回） 4/28、4/29、5/4、5/5の4日間開催で920人
全体での入館者は3,221人
- ・合格祈願祭 11月2日（土）14時開催 397人（昨年度532人）
- ・免税店利用の入館（外国人対象） 153人
- ・グラバー園との相互割入館 1月1日～2月29日まで 1,153人

② 無料開放入館者数 28,747人（前年比52.7%）

- ・2020年1月24日（金）～2月9日（日）
 - ランタンフェスティバル孔子廟会場（17日間） 27,588人（前年比51.6%）
- ・長崎市内 小・中学生減免 9校 220人（昨年242人）
- ・パスカード入館数 834人（太極拳教室と周平セナリヨを含む）（昨年518人）
- ・観光大使 39人（昨年48人）
- ・大浦公民館講座 66人（昨年48人）

2、 孔子生誕2570周年 孔子祭の開催

居留地まつりに日程を合わせ、2019年9月14日（土）14時より開催。ボランティア参加者の安全を考慮し時間短縮での式典は無事終了。式典終了後、余興として太極拳・中国獅子舞・龍踊り・中国変面ショーを開催。入館者数は586人

- 3 ゴールデンウィーク期間開催、変面の日
4月28日(日)、4月29日(月)、5月4日(土)、5月5日(日)の4日間開催
11時と15時に孔子廟広場にて椅子席・ワンドリンク付きのチケットで大人1500円、
高校生1300円、小中学生1200円で販売。チケット入館者数は920人。
その他、一般入館者数は2,301人。合計3,221人。収支差額は+201万円。
- 4 合格祈願祭の開催
11月2日(土)14時~17時にて開催。
今回より受験生の参拝は祈願祭イベント終了後とし、受験生応援企画として孔子廟所
属の変面師およびロバートの秋山竜次さん、福岡より黒龍武術団さんをお呼びして開
催。入館者数は397人。収支差額は▲140万円。
- 5 ランタンフェスティバル孔子廟会場
昨期は15日間で有料、無料合わせ71,334人。なお、昨期はキングダム展が開催された
ので通年より約50%多いことを念頭におきたい。今期は1月24日(金)~2月9日
(日)までの17日間開催。コロナウイルスの影響もあり、イベントの一部中止や雨の
影響もあり、有料入館者数は12,559人。無料入館者数は27,558人。入館者数合計で
40,117人となった。収支差額は+360万円。
- 6 中文学習班への補助金
中文学習班の継続と発展のため、従来より実施の公益事業の一環として今後も継続する。
- 7 2階展示場の展覧会
・4月1日~4月15日 中国改革開放40周年国際巡回展 開催
・4月16日~7月15日 フルンボイル民族文物展
・7月29日~11月30日 江南の風土「文房具の起源と沿革」展
・12月1日~現在 清朝時代の磁器展(孔子廟所有)
- 8 変面事業の興行収入
予算 400万円
実績 471万円
- 9 コインパーキング収入
予算 640万円
実績 822万円

10 テナント収入

予算 100 万円

実績 313 万円

11 物販収入

予算 330 万円

実績 373 万円